

第44号



市P連だより

尾道市PTA連合会

平成30年3月発行

【事務局】 〒722-0043

広島県尾道市東久保町20番14号

おのみち生涯学習センター内

TEL (0848) 37-7353

FAX (0848) 37-7354

E-mail:jimukyoku@onomichi-pta.net

卒業生の皆さまへ



尾道市PTA連合会
会長 木曾 奈美

卒業生の皆さま、ご卒業おめでとうございます。小学校の6年間、中学校の3年間はどんな時間でしたか。卒業は別れを伴う少しさみしいイメージもありますが、これまでのステージを終え、皆さんが更なる成長を遂げる次のステージへのスタートでもあります。

これからの新しい学校生活の中でいろいろな人と出会うと思います。『出会いがあれば必ず別れがある』という有名な言葉があります。会うのは別れの始まりだと思つと寂しくなりますが、自分がその人と過ごせる大切な時間だと思つて過ごすようにしてください。そして出会った人を大切にしてください。どんな出会いも一つとして無駄なものはありません。時にはうまくいかず、友達とぶつかることもあるかもしれません。逃げ出したくなることもあると思います。自分の気持ちをぶつけ、相手の気持ちを受け止めて、その中で信頼

できる友達を見つけてください。それは一人でも十分です。たくさん見つかってもいいです。その友達は、皆さんが苦しい時やつらい時に心の支えになることでしょ。楽しい時やうれしい時には一緒に喜ぶことが出来るでしょう。学校で出来た友達・学んだこと・思い

出を胸に刻み、時には振り返りながら一歩を踏み出していきたいと思います。

これから皆さんが歩む道の先には、様々な選択を迫られることがあると思います。皆さんには皆さんの可能性がある分、選ぶ道もたくさんあることでしょう。その時にどの道を選ぶかということも大切なことですが、選んだ道です。未来を見据えながら、『今を大切にすること』を忘れないでください。失敗を恐れないでください。挑戦しなかつたことを先になつて後悔しないように、出来る限りのチャレンジをしてください。進んでいく道で自分らしい花を咲かせてください。皆さん一人一人のキラキラ光る個性の花を咲かせて、尾道を個性の花でいっぱいにしてくれることを期待します。皆さんの成長を私たち保護者はいつも見守っています。

最後になりますが、保護者の皆さま、お子様のご卒業おめでとうございます。皆さまには平素より尾道市PTA連合会の活動にご理解とご協力を賜りましたことを心より感謝し、御礼申し上げます。卒業生の皆さまの今後の活躍をお祈りすると共に、これからの未来の担う子ども達を育むために皆さまのお力添えをお願いします。

旅立ちの日を迎えた今、皆さんの胸の内には、未来への大きな希望や喜びと、卒業という別れの淋しさが入り交じっていることと思います。



卒業生に贈ることば



尾道市教育委員会
教育長 佐藤 昌弘

今日ここに卒業を迎えられた皆さんに、心からお祝いを申し上げます。

保護者の皆様、お子様のご卒業おめでとうございます。卒業という節目を迎えられ、これまでの御苦勞も大きな喜びに代わっていることと存じます。

また、今日まで卒業生を、熱心に指導してこられた先生方、学習支援や登下校の見守り等で、卒業生を支えてくださった地域の方々をはじめ、関係者の皆様にご機会をお借りし、厚くお礼申し上げます。

卒業生の皆さんが過ごした学校での生活を振り返ると、いろいろな思い出がよみがえってくることを思います。仲間とともに汗や涙を流し取り組んだ体育行事、心を一つに合わせた文化行事、力を合わせ仲間や先生と懸命に取り組んだ学習や部活動など、楽しい行事に心が弾む日もあれば、いやな出来事があり登校する足取りが重いこともあったでしょう。様々な

場面を振り返ってきたことは、皆さんを心身ともに大きく成長させた。またこのことは、これからの心の支えとなることでしょう。卒業生の皆さん一人ひとりがそれぞれ新しい道を歩みはじめる時です。卒業して進む道は、みなそれぞれ違いますが、その先には、無限に広がる可能性があります。自分の中に秘められている大きな夢や志をもち、それを大切に育てていってください。

新しい一歩を踏み出す皆さんに大切にしてほしいものがあります。それは人との関わりです。ときには、うまくいわずに厳しい状況になることがあるかもしれません。でも、そんな時ほど、思い起こしてください。今ここにいる友達、先生、家族、地域の方のように、きつと誰かが、あなたの傍らにいます。あなたは、決して一人ではありません。皆さんも友達の優しい言葉に励まされたり、親切な行いに助けられて嬉しい気持ちになつたりした経験があることと思います。人は、人との関わりの中で成長し、支え合つて生活していきます。このことを忘れることなく生活していきましょう。人との繋がりは大きな財産です。これまでの学校生活の中で得た思いやりや感謝の気持ちを持って、新しい友達をたくさん作ってください。

尾道は、自然に恵まれ、歴史文化の香るすばらしいまちです。この故郷尾道で生まれ育つたことを誇りに持ちながら、これから始まる新しい未来に、大きな夢と志を抱いて、大きく羽ばたいていってくださることを心から祈っております。

市P連親睦 ソフトバレーボール大会



平成29年9月10日(日)、びんご運動公園スポーツセンターにおいて、第16回尾道市PTA連合会親睦ソフトバレーボール大会が開催されました。数多くのご参加と大会スタッフのご協力により、無事開催できたことを深く感謝しております。

私たち美木中学校ブロックでは、大会運営をするにあたって、『おのみち みんなでつながり 輪になろう』をテーマとして、美木中学校、三成小学校、美木原小学校の3校がつながり、協力し、大会の企画・準備をすすめて参りました。

今大会の変更点として、各ブロック上位チームによる、決勝トーナメント方式を取り入れさせていただきました。この試みは、大会目的はもちろん親睦ではありますが、大会競技として実施するにあたり、「順位の明確化を図ることで、選手として参加される方々が、より気持ちを込めてプレーしていただけるのではないか」というスタッフの思いから実施させていただきました。

また、ご来賓の皆様にご多用の中、ご来場いただきありがとうございます。そして、市P連役員の皆様、関係各位の皆様には、大会準備の際、ご指導、ご支援をいただきまして感謝申し上げます。

最後にありますが、来年度、担当される高西中学校ブロックの皆様、大会が無事開催されますことを、心より願ひ、応援いたします。

本当にありがとうございました。

体育部副会長 山本 衛



日本PTA全国研究大会 仙台大会

筆頭副会長 明上 浩之

去る、平成29年8月25日～26日に第65回日本PTA全国研究大会仙台大会へ尾道市PTA連合会から3名参加して来ました。

初日は9分科会に分かれ、各実践発表や研究課題について聴講しました。

私は第二分科会で「家庭教育」について聴講しました。その中でも特に記憶に残ったのは二つあり、一つ目が、人間らしさをつかさどる脳の一部は20代中盤まで築かれるので、子供が大きくなったからといってコミュニケーションレスはよくないということ。二つ目は、地域の課題は大人が解決していく姿を見せること。そのためにも、地域では年齢を問わずコミュニケーション（繋がり）が大切だということでした。

私も常日頃からコミュニケーションは大切であると感じていましたが、改めて感じた時間でした。

初日の夜には広島県PTA連合会主催の懇親会で各単Pとの意見交換も行い、その後には尾道市PTA連合会OBの方々との意見交換もあり、内容の濃い夜になりました。

二日目は全体会が行われ、ウエイトリフティングの三宅宏実さん親子による基調講演がありました。

二日間の東北弾丸ツアーで初めての参加でしたが、勉強になった研究大会であったと感じました。



要望書提出&改善状況報告会

平成29年7月13日に尾道市PTA連合会役員で市長・市議会議員・教育長へ要望書の提出に行ってきました。これは毎年各小中学校からでた要望をまとめて、持参し学校の環境改善をお願いに伺っているものです。今年の市P連からの重点項目として以下の3点を挙げさせていただきます。

- ① 暑さ対策について
- ② 補助の教諭又は職員・支援員の増員配置について
- ③ 尾道市PTA連合会に対する補助金について

これら3項目は毎年要望を挙げさせていただいておりましたが、特に暑さ対策としてのエアコン設置はなかなか前に進んでいない状況でした。しかし昨年12月の議会において教育長から「平成31年8月末を目途に全ての小中学校の普通教室と特別支援教室、音楽室に空調設備を整備できるよう計画をしている」というお話がありました。



会長 木曾 奈美



尾道市教育フォーラム

昨年11月に「第13回尾道市教育フォーラム」が華々しく開催されました。

今年度の担当は長江中ブロックで、二回目の運びとなりました。二年前に準備委員会として立ち上げ一年半の間を経て保護者の方々と、先生方、そして子供たちが一体となり準備を進めてきました。

実践発表では長江中の「スマホ8つの誓い」と寸劇の発表や長江小の「篠笛」、土堂小の「土堂つ子太鼓」が発表され各校の特長的な姿が来場された方々に感動を与えてくれました。

また記念講演では「合唱音楽作曲家」弓削田健介氏をお招きし「いのちと夢のコンサート」と題しホール全体に笑いあり、感動ありの心に響く歌声とお話で会場が涙の渦に巻き込まれていました。

フィナーレでは長江中育友会による合唱部と岩田校長をはじめ各学校から結集し弓削田先生との大合唱で幕を閉じ大盛況の教育フォーラムとなりました。

「私自身「教育フォーラムとは？」「なんの為にやるのか？」から始まりましたが、感じた点としては、我々保護者が学校に向き、学校での子供たちの様子を目の当たりにする事や先生や保護者との関りを深めるとともに学校での子供たちの生活環境を知ること家に帰って子供達と会話をしたり、接する機会を作られているのではないかと感じました。フォーラムに限らず、参観日や各委員会もそうですが、保護者にとつては育児に仕事にお忙しいとは思いますができるだけ子供の為に時間を割いて学校にも足を運んで欲しいと思います。

最後になりますが本大会に関わっていたいたすべての方に心より感謝の意を申し上げます。

教育フォーラム実行委員長

川口 新太郎



なくそう犯罪・なくそう交通事故決起大会

平成28年11月26日(土)、尾道市民センターむかししま「こころ」において、第2回なくそう犯罪・なくそう交通事故決起大会が開催されました。大会では、交通安全に尽力された団体・学校・優良運転者・功労者などが表彰されるとともに、尾道交通安全協会会長表彰の尾道市立久保中学校3年、住田昌和さんが交通安全作文「信号無視から学んだこと」を発表され大きな拍手をいただきました。

また、市P連から、「こども110番事業」の取り組みや「市民総参加で子どもを守り育てる地域宣言くおのみち」についてPRするとともに、玄関ロビーにて「こども110番事業」の新規登録を募集し、多くの方に登録していただきました。ありがとうございます。

安全で安心して子育てができる社会を目指すために、皆様の知恵と力を結集して、子供たちが犯罪や交通事故に巻き込まれない環境づくりを進めていきたいと思います。

安全部副会長 奥田 敏勝



講演会

「親子で学ぶ正しいメディアとの付き合い方」

平成30年1月20日(土)、尾道市市民会館において、講演会「親子で学ぶ正しいメディアとの付き合い方」を開催しました。

講師は、尾道市次世代育成のための電子メディア対策委員会で委員としてご尽力いただいています、福山大学人間文学科准教授の内垣戸貴之先生にお願いしました。

今や生活必需品でもある「メディア」との正しい付き合い方について、使い方やルール作りなどを教わりました。こどもも大人もメディアとの付き合い方をどのように対応していくか、創意工夫して、みんなで考えていきたいと思います。

ご参加いただきました親子のみなさま、ありがとうございます。

安全部副会長 奥田 敏勝





おとなの親の道徳教育講演会

小学校会会長 赤坂 雅士

去る2月9日、しまなみ交流館において毎年恒例の親の道徳教育講演会が開催されました。今年の講師は心理相談員の宮田晃氏をお招きして、「親も子も輝いて生きる」と題してお話しを頂きました。

先生のやさしい語り口調で子どもへの愛情の伝え方や伝え方を間違いないことなどをお話いただき、言われてみれば当たり前のことだけど、気づけてなかったことを色々と再認識できました。

子育てに必要なのは「甘えさせる」とこと「見守る」こと。子どもが甘えたい時にしっかりと受け止め、子どもが親から離れそうとしている時に安易に手を出さず信じて見守る。この2つを子育ての軸とできるように自分の子育てでも再点検してみようと思います。

「夢」についてのお話しもありました。

「何かになりたい」から「何をしたい」へ。

例えば弁護士になりたいという夢は弁護士にならなければ叶いませんし、弁護士になった時点で終わってしまいます。そうではなく、「弁護士になつて弱い立場の人を助けたい」という夢なら弁護士になれなくても弱い立場の人を助け道は他にいくらかもありますし、弁護士になつたあとも夢は続きます。

今回の宮田さんのお話しで子育てについてだけでなく、我々親自身の生き方についても多くのヒントをいただけただような気がします。そして子育てに苦勞し、悩んでいる方の心が少し軽くなるような講演であったと思います。ご参加いただいた皆様には心から御礼申し上げます。



編集後記

本年度も市P連の活動に多くの方々のご協力を頂いて1年を終えることができました。本当にありがとうございました。

来年度から小学校で道徳が「教科」になります。(中学校は再来年度から)

市P連としても「教科書の選定」にかかわらせていただきましたが、どの教科書にも共通していたのは、「子どもたちに議論をさせる」ことに重きを置いているという点です。

道徳の授業を使って議論をする中で、人それぞれ色々な考え方がありその違いを認め合うことができれば「いじめ」の問題解決にもつながっていくのではないのでしょうか。

あと、小中学校のエアコン設置が決まりました。最近の夏の異常な暑さは子どもや先生方には大きな負担であったと思います。これで夏も快適に勉強ができるでしょう。

親の本音としては、「夏休み短くならないかなあ」です。(笑)



副会長 高橋 武也

文科大臣表彰

広報紙コンクール表彰式

この度の全国小・中学校PTA広報誌コンクールにおいて、高西中学校広報誌「鶴羽ヶ丘」が素晴らしい賞を頂き、喜びと感動の気持ちでいっぱいです。日々忙しい中で制作に携わった委員会の皆さんには、感謝と同時に今までの努力に対する最高の結果を共に喜ぶことができ大変光栄に思います。また広報誌の記事となる日頃の学校活動、PTA活動にご理解、ご協力を頂いている保護者、教職員の皆さん、そして子どもたちにも感謝しております。

今年度、みなと祭のボランティアなど地域に貢献する活動を評価された第1回「尾道きらり賞」受賞をはじめ、3年生を中心に生徒たちは学校行事を通じて地域のみなさんに大変評価して頂いております。

今回のこの表彰で、私たち大人の頑張りも成果が出て、子どもたちに何か伝える事が出来たと感じております。

今後もさらに上の賞を目指し、またPTAへの理解につながるよう、学校活動やPTA活動をしっかり伝えられる広報誌づくりをみんなで楽しく行ってまいります。

高西中学校
湯谷 昌弘

